



ほいくえのわ

株式会社マザープラネット

【小規模認可保育園】チコル保育園

(千葉県柏市若柴178番地4 柏の葉キャンパス148街区1 パークシティ柏の葉キャンパス ザ・ゲートタワーウエスト3F)

2022年7月31日 (日)

13:00~17:00

【大切にしているのはこんな保育】

☆子ども主体の保育を叶えるために模索中

昨年度から一部試行していた縦割り保育を、今年度から本格的に始めました！これまでのやり方を変えるには大きなエネルギーが要ります。そして子どもの主体性を叶えるためには、子どもの姿をじっくり見ることが重要だと感じています。クラスを越えて保育をすることで外に遊びに行くでもOK、室内でじっくり遊ぶでもOKと、子どもに選択肢を与えられるようになった喜びが大きいですね。職員間の振り返りの時間を5分でも、毎日必ず取るようにしています。「主は子ども」「大人都合はやめよう」といった共通の合言葉を持って、連携を取ることを大事にしています。

☆年間1000冊の絵本に触れる保育を

本棚がたくさん、ジャンルも豊富です！

感性や想像力といった人間らしさを磨くことが、現代の子どもたちに最も求められることだと考えています。絵本は言葉を知る・想像力を育む・音を楽しむのにもってこいの道具です。絵本の世界から製作へ、あそびへ、生活へなど、保育の現場に展開できる可能性は無限大。チコル保育園では1000冊読む目標のほか、ご家庭への貸出も行っています。「子どもが絵本大好きになった」「家族の時間が充実している」など大好評です。



【目指しているのはこんな保育】

☆子どもも大人も心から楽しめる保育園に

職員一人ひとりの持ち寄るものを新しい風として歓迎したいです。若手保育士は最新の保育を学んでいる強みがあるので、職場でもいろいろ教えてほしいです。ギターが得意な保育士がギターを弾くと、おもちゃと絵本をギターと楽譜に見立てて、子どもたちが集まってきました。職員一人ひとりが持ち味、足りないところを補い、少数精鋭でもゆとりが生まれるように、チューター制度と階層別研修制度を取り入れています。

【お話しくださったのはこの方】



子ども主体の保育を叶えるために最も重要なことは「連携」だとお話くださいました。話し合いでは経験年数など関係なく、皆が「今日の保育はこうだったと思う」「こんなことをやってみたい」と意見を出し合える職場だというお話でした。

会社が掲げている指針の一つとして、「多様性を受け入れる」というものがあるそうです。ライフステージに合わせた働き方を模索できることも、マザープラネットさまの特長の一つだと感じました。学びながら、自身の生活を大切にしながら、保育の現場で切磋琢磨してほしい。職員を尊重し想う姿勢がとても伝わる取材でした。

代表 藪本敦弘さん
リーダー 横井友美さん